



NO. 827  
 発行  
 2014年  
 9月22日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 上石 昌彦  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 機関活動から組織拡大へ

第67回定期地方大会  
 9月6日地本事務所

第67回定期地方大会が、9月6日10時から地本事務所で開催されました。

代議員延べ18名から発言されました。職場の問題・委託先の労働環境・出向先の労働条件・北陸新幹線開業、ときめき鉄道開業など、労働条件に関わる問題点など多く発言されました。

来賓には日本共産党、西沢さん・退職者組合の守橋事務局長があいさつされました。国労東日本本部から、佐藤書記長、矢部執行委員が出席し佐藤書記長からあいさつがありました。



## 議長・県支部 木澤代議員選出

開会あいさつは、藤井副委員長から「職場の問題点や労働条件改善について取り組みを進めていかなければならない。国労の最重要課題である組織拡大の取り組みをすべての活動と結合して取り組んでいこう」とありました。



## 上石委員長あいさつ



安倍内閣は、特定秘密保護法の成立、集団的自衛権の閣議決定など強行し戦争ができる国に向かっていく。

集団的自衛権を許さない闘いを強めていこう。政治闘争の取り組みも重要になっている。東日本大震災の復興は進んでいない、早急に進めていかなければならない。そして、原発を推進している安倍内閣を打倒していく。

組織強化・拡大は国労の最重要課題だ。組織対策委員会を設置しているが拡大が無い状況だ。職場、地域で活動を進めていこう。



## 質疑・討論

後、全員の出席を確認しました。上石委員長のあいさつ、来賓あいさつ・そして午前中、運動方針財政関係の提案を行いました。午後から質疑・討論、15時10分頃、上石委員長の団結がんばろうを行い大会は終了しました。



●国鉄闘争・闘争団員について解雇された時点で組合員資格が無いと判断された。現在、組合員資格について裁判闘争中だ。国労本部は、単一体では無かったと主張し

対話活動・レク活動から拡大に結び付けている。

機関活動から組織拡大へ進めていこう。



●北陸新幹線開業が来年3月。信越線が直江津・妙高間第三セクター化する。直江津運輸区は廃止、電気・保線関係は柏崎に職場が新設される。社宅・寮以外は「ときめき鉄道」へ移譲される。労働条件の説明が無い。北陸地本から情報が入手している。JR西日本は書面が出されている。生活設計があるから会社側へ働きかけ労働条件など早目に出してもらおうようお願いしたい。東労組は拒否している。労働条件がわからないから希望を出せない。8月に北陸新幹線の運行状況が出されたが詳しくは無い。ダイヤは来年になるだろう。早目に出してほしい。

「ときめき鉄道」の運転士30人・車掌10人。西日本では、運転士30人を予定している。直江津運輸区の工事は進んでいる。

要望として、ときめき鉄道の社員・運転士見習い3人・車掌見習い3人は研修所で教育を受けている。研修所から自宅へ帰るのに旅費は月に1回しか出していない。月1回しか旅費が支給されていない。せめて月2回は旅費を出してほしい。プロパー社員は毎週帰りたいと言っている。

# 地本貨物協 学習会の開催

## 10月17日(金) 13時から 講師 全貨協役員 地方本部2F会議室



● 出向問題について、今まで貨物から旅会社へ出向していたが、2年前から旅から貨物へ戻らず委託会社へ出向となった。職場は長岡車両センターで仕事の内容は変わっていない。仕業検査には、旅会社から3人で期間は3年。貨物から4人・期間は2年。出向期間について面談し、2年出向したから貨物へ帰りたいと言ったが、会社から、出向を延ばしてほしいと言われた。本人は貨物の本務職に戻りたいと言っている。本人の希望がかなえられていない。本人は



● 組織拡大について、職場の若い人たちから飲み会に誘われている。組対費の活用が継続できるので活用していきたい。組対費を知らない組合員がいるのではないか。この活用で拡大行動ができる。お互い利用し役



ひとりでは悩んでいる。貨物労組の役員は犠牲になっても会社のためにやること・など掲示されている。労働条件改善やサービス労働を無くしていくこと・改善してほしい。

● 技術継承について、若手は現場の仕事覚えることが重要だが、日々の研修や課題などあり時間的に余裕が無い。エルダー社員の労働環境が厳しい。夜間作業が増えている。出向先が希望できない。労働条件改善の取り組みを強化してほしい。



● 新潟駅立体交差工事などで、現行の駐車場が利用できない。駐車場は他に13台確保しているが、冬季は運転士など車両の暖房を事前に行っている。そのため早目に出動している。通勤の基本は列車だが早目出動の時は車での出動になるので駐車場が必要だ。そして、車で、出動した時の燃料代など負担についてどうなるのか。

● カラスの糞対策に効果的なシールが新潟駅構内に販売されているが活用できないか。

● 方針書の中で、情勢についてもっと具体的内容を。集団的自衛権についての状況・戦争ができる国。労働者を取り巻く状況が変わってきている。新しい憲法・戦争ができる国に移っていく中で労働組合にも攻撃が強まる。戦後の流れから。

以前、国労新潟で解雇されても組合員資格を認めている。安倍内閣と対峙して闘っていくこと。世界中で戦争が起こっている。大変な時代になつていく。国鉄・JR退職時期、安全が守られていない。技術継承ができていない。安全問題は重要だ。JR連合も組織混乱している状況だ。現場から闘いを進めていくこと。安倍内閣は、労働組合を解体して憲法改悪を進めている。

組織拡大と交流を深めていく。新津車両製作所の、分社化の攻撃の中JR労組から参加したいと言つて来ています。4人決起集会に参加した。国労が現場で闘いを取り組めば若い人たちも参加する。



● 職場の状況について、検修職場の世代交代になって、国鉄当時から社員が少なくなつた。問題点・休みが取れない。自分の都合で早く帰る。この状況・職場の環境から厳しい実態になるのではないか。

● 酒田の脱線事故・飯山線踏切事故など会社側は問題視している。職場では仕事について学習していく雰囲気になっていない。世代交代がうまくいっていない。要員不足になっている。もっとしっかり目を向けてがんばっていくこと。

● 現職・エルダー・プロパーなど手当ての差が大きい。エルダー要員が削減される。6人から5人に減らされる。エルダー制度も年金満額支給までの期間。労働条件改善などエルダーについてもストに入れるくらいに考えをもつてほしい。

### 編集後記

今回は、第67回定期大会の特集になりました。次号も引き続き大会の記事になります。

次号は、代議員の発言とエリア本部・佐藤書記長あいさつ・書記長集約・など記載する予定です。

秋も少しずつ深まってきています。朝晩は気温が下がりが肌寒く感じるようになりまし。季節の変わり目は身体に気をつけてください。

